

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6人		利用児童の状況や活動の内容に応じてスペースを仕切ることができる。
	2	職員の配置数は適切であるか	5人		※無記名1 発達段階や特性、健康状態等により、1対1で対応しなければならない子どももいるため、職員が足りないと感じる時がある。 若い職員が多くフォロー体制を整えるために人員が多いほうが良いと感じる行事や状況によって事前に配置人数を増やすなど工夫している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6人		所庭にはフェンスを設置している。 施設内はバリアフリー。 ウッドデッキと玄関にははしスロープがある。 視覚支援を取り入れている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6人		利用児童降所後に清掃、消毒を実施している。 利用児童の状況に応じて環境の工夫をしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5人		※無記名1 個別サポート会議を実施している。 専従職員間では情報共有を密に実施してはいるが、全体への周知は不十分
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6人		保護者向けアンケートを実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6人		結果と検討内容について恵泉会のホームページに掲載してる。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6人		第三者委員の方による評価を実施している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6人		内部研修を実施したり、外部研修への参加も積極的に実施している。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6人		保護者と面談をして聴き取りをし、こどもの様子観察を行い、サポート会議で分析、検討した上で計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6人		共通のアセスメントシートと、利用児童の状況に応じて遠城寺式発達検査を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6人		児童発達支援ガイドラインに沿って支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6人		

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6人	各事業の担当職員を中心に話し合い立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6人	興味関心や発達段階に応じた活動を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6人	子供の状況に応じて活動内容や支援について検討し、計画を作成をしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6人	毎日朝の打ち合わせを実施している。申し送り簿を作成し、参加できなかった職員も内容を確認できるようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6人	毎日夕方の打ち合わせを実施している。申し送り簿を作成し、参加できなかった職員も内容を確認できるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6人	サービス提供書や業務日誌へ利用時の様子や支援について記録し、モニタリングや計画見直しの際に活用している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6人	半年に1回以上モニタリングを実施し、結果をもとに計画の見直しを行っている。
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6人
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6人	必要に応じて、保健師、こども家庭センター、その他併用施設（保育所、幼稚園等）と連携を図っている。
23		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6人	医師の指示書に基づいて看護師が医療ケアを実施している。受診の結果や、治療経過等について、共有を図っている。就学先へ引継ぎを行っている。
24		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6人	医師の指示書に基づいて看護師が医療ケアを実施している。治療、入院の経過について書面で報告をいただいている。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6人	併用している幼稚園、保育園、こども園との情報共有を行っている。移行先への情報提供を行っている。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6人	移行先への情報提供を行っている。就学相談会への出席をしている。
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6人	外部の理学療法士や地域生活支援センター等からの助言を受けている。視覚支援学校からの助言をいただけるような体制が整っている。
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6人	地域の保育所やこども園との交流会を実施している。（南方こども園、キッズつぼみ、中田保育所）
29		（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6人	相談支援専門員が、事例検討会へ出席している。自立支援協議会への参加はないが、情報の共有をしている。中田中学校区連絡会への出席をしている。
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6人	提供書を通じてや、送迎時に様子等を伝え合っている。状況に応じて個別の面談を実施している。

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6人		保護者向けのペアレントプログラムを実施し、希望保護者が参加できるようにしている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6人		契約時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6人		モニタリングと個別支援計画について説明を行い同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6人		半年に1回の面談を実施している。 送迎時等に対応している。 保護者からの希望があった際や、日々のやり取りの中で必要性が感じられた場合は、個別の相談の時間を設けている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6人		年度の初めに、保護者を対象とした療育説明会を実施している。 親子行事を実施している。 保護者会は休止中だが、要望に応じてスペースの提供をおこなっている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6人		苦情受付担当者を設置し、契約時に説明を行っている。 相談には迅速に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6人		月に1回こじかだよりを作成し配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6人		契約時に説明を行い同意を得ている。 個人情報については、保護者の同意を得た上で活用している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6人		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6人		マロニエの会（町内の独居老人の会）との交流会を実施している。 Jボラ（地域の学生ボランティア）の受け入れをしている。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5人	1人
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6人		地震、水害、火災を想定した避難訓練を実施している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6人		利用開始前に児童生活調査票や健康調査票を保護者に記入していただき、服薬、予防接種、その他健康の状態について把握している。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6人		アレルギー除去食等の依頼書を提出してもらっている。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6人		事故報告書を作成し事業所内で共有している。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6人		虐待防止研修を実施している。 虐待防止に関する職員アンケートを実施している。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6人		身体拘束に関する職員研修を実施している。 身体拘束に関する内容を契約書に記載し、契約時に保護者へ説明を行っている。 緊急時やむを得ない事由による身体拘束の実施については同意書を作成し、保護者の同意を得た上で実施し記録を残している。 虐待防止委員会の中で、身体拘束に関して検討している。